

IGT High Speed Inking Unit 4

Precise inking times

テクニカル データ

- ゴムローラー: 1, 2, 4分割
- ゴムロール練り面積:
4 x 328 cm² (4 分割)
2 x 729 cm² (2 分割)
1 x 1537 cm² (1 分割)
- 練り着肉速度 : 0,2 - 1,2 m/s
- 練り時間 : 5 - 300 s
- 温度範囲: 15 - 45° C
- 印刷ディスク最大幅: 50 mm
- * オプション 70 / 100 mm

重量: 55 kg

高さ: 400 mm

幅: 720 mm

奥行き: 440 mm

電源

115 - 230 V / 50 - 60 Hz

特徴

- CE対応
- モダンデザイン
- コンピューター制御
- 簡単な操作
- 高い再現性
- 画面上にある取扱マニュアル
- 7 - タッチスクリーン操作

代理店

IGT Testing Systems

Research, development and production of testing equipment for the printing and allied industries

IGT Testing Systems
P.O. Box 22022
1302 CA Almere
The Netherlands
Phone : +31 20 409 9300
Fax : +31 20 409 9339
E-mail : info@igt.nl
Internet : www.igt.nl

アイジーティ・テストングシステムズ株式会社

〒285-0804 千葉県佐倉市馬渡1229-1
tel: 043-308-7302
jp: www.igt.co.jp www.igt.nl
mail: info@igt.co.jp

Patents pending. © Copyright 2019. The specifications may be subject to change without notice.

IGT

IGT High Speed Inking Unit 4

Ultra-fast inking unit for paste inks

IGT 高速インキ練り装置 HSIU4



IGT高速インキ装置4は、IGT印刷適性試験機の印刷ディスクに着肉するために開発された装置です。正確で明確なインキ層厚で最高の精度で印刷されます。ピックテストオイルの一定の粘度とインキの一定の乾燥特性を得るため、内蔵コンピュータにより、すべてのパラメータとユーザー設定の使用モードを保存できます。

APPLICATIONS

- IGT印刷適性試験機で使用できます
- 再現性を高めるために古いAE装置との互換性
- IGT Amsterdam 試験機との最適な組み合わせ
- 従来型・UV硬化型オフセットインキに使用可能
- 温度制御インキ、ピックテスト老津
- 短い練り時間、速い操作
- 同時に4つまでの練り・着肉が可能

高速インキングユニット4のユーザー

- 印刷インキ製造
- 紙と厚紙、印刷業界
- 金属、プラスチック、包装
- 樹脂、ラッカー、コーティング
- 化学工業・原材料・教育と研究
- Printing ink manufacturing
- Paper and board, printers
- Metals, plastics and packaging
- Resins, lacquers and coatings
- Chemical industry
- Raw materials
- Education and research

IGT High Speed Inking Unit 4

Quick and easy to operate



プロパティ

IGT高速インキングユニット4は、高速インキングユニットで、最大4枚の印刷ディスクに同時にインキを印刷することができます。この設計により、インキング時間を15秒に短縮できます。すべての設定と指示は大きなタッチスクリーンで利用できます。IGTH High Speed Inking Unit 4の動作温度は、内部の恒温槽によって制御されます。恒温槽は、装置を15~45℃に加熱または冷却するために使用されます。

これは、高い練り・着肉速度、発熱、インキ粘着性・粘度、試験結果に影響を与えるときに特に重要です。

- 練り速度0,21,2 m/s
- 5-200秒の練り時間

- 5-200秒の印刷ディスク着肉時間

- 印刷ディスクが自動的に上昇

- コンピュータ制御

- 1-4つのセクションとして利用できるシャフト

- ディスクごとに独立した練り着肉時間

- 内部温度制御

- すべてのIGT試験機での使用に適しています

- 安全な操作のための上部前面カバー

- 稼働中の閉鎖環境

- 溶剤の抽出（洗浄）

- アップデートおよびデータ記録用のUSBポート

- 非常停止とのCE適合カバースイッチ、トルク低減排気

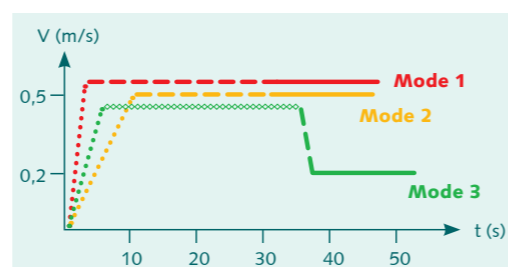
操作

IGT高速インキングユニット4は、内部温度制御ユニットによって制御される2つの温度管理されたスチール製練りローラとラバートップローラを使用します。ユニットがインキを均一に練った後、印刷ディスクはトップローラと接触し、そして予め設定された時間着肉されます。着肉時間に到達すると、印刷ディスクは自動的にトップローラから上昇します。ユニットは事前設定された練り・着肉シーケンスを実行できます。ユーザー定義の練り・着肉を設定できます。

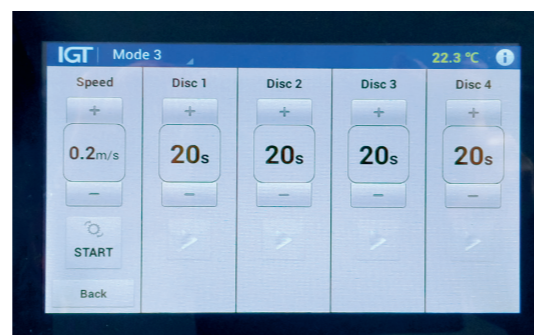
- 練り時間と速度を設定します。設定時間が経過した後、印刷ディスクの着肉が開始されます。このモードは最適な設定が可能です。

- 練り時間と速度を設定し、速度に達するまでの立ち上がり時間が設定できます。設定時間経過した後、印刷ディスクの着肉が開始されます。高粘度インキのインキ飛びを防止するために適しています。

Inking modes



..... Start-up
 - - - - - Pre-distribution
 - - - - - Distribution
 ——— Inking time



Display

IGT High Speed Inking Unit 4

Computer controlled process



IGT AIC2-5



IGT Global Standart Tester 2



IGT Amsterdam-6

カバー

IGT高速インキ練り機には、透明なトップカバーとステンレス製のフロントカバーが付いています。これらは周囲および環境への影響の汚染を防ぐ。カバーは安全スイッチで保護されています。カバーを開くと、ファンが作動してカバーの下の領域からヒュームが排出されます。これらのフュームは、アクティブフィルタを通して、または外部の排気システムに戻って排出されます。



温度管理

温度は内蔵恒温槽によって制御され、これはユニットを加熱または冷却することができます。金属ローラは設定温度に保たれ、トップローラも同じ温度を保ちます。正確な温度制御はピックテストや異なる温度でインキの特性を研究するときに重要です（例えばドライオフセット印刷用のインキ）。ローラの実温度はディスプレイに表示されます。

クリーニング

装置には特別なクリーニングモードがあります。これにより、清掃が迅速かつ安全になります。清掃作業をさらに容易にするために、トップローラを持ち上げることができます。

IGTインキピペット

トップローラにインキを転移させるのに使用することを推奨します。転移量の正確さは、試験の結果に重要です。インキピペットは0.01 mlと0.001 mlの解像度で入手可能です。



IGT Ink pipette

